



風間さんとの旧交温める

中標津町在住の作曲家 住の作曲家 牧野さん27年ぶりに再会

中標津町在住の作曲家
牧野昭一さん(74)は、公
演のため来釧した俳優の
風間杜夫さんと四半世紀
ぶりに再会し、旧交を温
めた。

俳優の風間さん(右)
と27年ぶりの再会を果
たした牧野さん

風間さんはカラオケを
通じサラリーマンの悲喜
劇を演じる1人芝居「カ
ラオケマン」で全国行脚
中。その芝居が今月19日
に釧路市生涯学習センタ
ーで公演された際に、牧
野さんが楽屋を訪ねたも
の。この時、風間さんと
は約27年ぶりの再会。家

族の事にまで話が及んだ
そうで、「知らぬ顔をさ
れるかなとも思ったが、
懐かしそうに声をかけて
くれた」と喜んだ。
風間さんは1975年
に牧野さんがプロデュー
スした三国連太郎主演の

舞台「からふとの詩」に
若い青年役で出演してお
り、釧路市はその芝居の
打ち上げをした所。
「当時は20代半ばで無
名だったが、闘志を内に
秘めた芝居をしていた」
と懐かしそう。風間さん

は後に松竹映画「蒲田行
進曲」の「銀ちゃん」役
で一躍トップスターに。
今回、風間さんの1人芝
居を見た感想は「(芝居
は)迫力があり、観客を
満足させるものだった」
と目を細める。
風間さんとの出会いは
96年に中標津町に移り住
んだ直後に執筆した「赤
いグラスのいい出会い」
(総合企画)にも触れら
れている。この日風間さ
んには同著と標津羊羹を
プレゼントして、つかの
間の旧交を温めていた。